

# 海外研修レポート

総務課 財政係長 吉澤 裕治

「平成30年度市町村職員外国派遣研修」が9月9日（日）から19日（水）までの11日間行われ、福島町からは総務課の吉澤財政係長が参加しました。

本研修では、ヨーロッパの地域振興・環境対策・社会福祉を学ぶことをテーマに実施されました。12月号を後編として報告いたします。

視察後は、コペンハーゲン市内に移動し、観光名所の人魚姫の像や、アマリエ



▲カラフルな港町ニューハウ

【スウェーデン】研修4カ所目、マルメ市で「高齢者の社会参加」を研修。かつて造船業で栄えたマルメ市は、近年、新エネルギーやITの街へと変化したが、独居老人や高齢者の孤独死が大きな社会問題となっていました。

高齢者が生涯を通じて健康で生きがいを持ち、積極的に社会参加していくことが重要だと捉えて、特徴のある7カ所のミーティングプレイス（高齢者等の交流施設）を開設していると伺い、高齢者の介護予防や医療費の抑制という観点からも重要な役割を担っていると感じました。



▲ウスペンスキー寺院

フィンランドのヘルシンキ市内を視察。ウスペンスキー寺院は、赤レンガと緑の屋根のコントラストが美しく、とても印象的でした。

研修5カ所目、ダンデリード市で「社会福祉・少子化対策」を研修。福祉大国として知られているスウェーデンは、幾度かの少子化対策を経て、現在も先進国の中では最高水準の出産率を実現しています。

国内で最も小さい市の1つであるが、最も裕福であると言われているダンデリード市の取り組みを伺い、子育てのための経済的支援や、社会全体で子どもを育てるといふ環境づくりの重要性を学びました。

【気候】3カ国とも、18〜20℃くらいの気温で、少し肌寒い程度。研修期間中は天候に恵まれ、快適に過ごすことができました。

【商業】オランダはユーロ、デンマークはクローネ、スウェーデンはクローナを通貨として使用。北欧は物価が高く、デンマークの消費税は25%でした。

日本では現金決済が主流ですが、ヨーロッパではクレジットカード払いが一般的で、日用品など少額の買い物でもカードで払うことが当たり前でした。

【食事】日本という洋食で、肉・魚とも違和感なく食べることができました。ただ、どの国も備え付けのジャガイモなどの量が多く、完食には一苦労しました。

【交通】オランダは自転車が交通手段として有名で、歩道、自転車道、車道と3つの道が整備されており、特徴的でした。市以外の多くの街では、信号がない円形交差点が主流で、見慣れない光景に戸惑いました。

【建造物】歴史的な城や宮殿なども日本では見る事が



▲オランダ・アムステルダム

りで感激しました。イタリアやギリシャ等を除くと、ヨーロッパの国々は大規模な地震がほとんどないため、歴史的建造物が多く街中に残っていました。

【最後に】今回研修に参加して、海外の文化を肌で感じる事ができ、とても貴重な体験となりました。日本だけではなく、海外の文化も知るといふことは、将来的に自分の視野を広げることにもつながると感じました。

また、各国での研修はもとより、長い研修を共にした参加者からも強い刺激を受け、道内各地とのつながりが出来たことが大きな収穫となりました。

「完」